

第 65 回関東都県算数・数学教育研究埼玉大会参加報告

柏中央高等学校 篠崎 健太郎

第 65 回関東都県算数・数学教育研究埼玉大会が 8 月 11 日（水）に行われました。今大会は、「新学習指導要領を活かした算数・数学学習の提案」を主題とし、さいたま市の大宮ソニックシティ（全体会、小学校部会、中学校部会）、及び国際学院埼玉短期大学（高等学校部会）を会場として開催されました。例年のない猛暑の中、大会実行委員長の挨拶も「日本一暑い埼玉へようこそ」から始まるほどの暑い埼玉の地で、しかし外の暑さに負けないほどの熱い研究大会となりました。記念講演及び分科会の様子について報告いたします。

1 記念講演

「新学習指導要領を活かした算数・数学学習」
日本数学教育学会会長 清水 静海

(1) 算数・数学教育が実現を目指していることから

過去の学習指導要領と対比しながら、今回の新学習指導要領のポイントとして、特に次の 3 項目を挙げられていました。

- 算数的・数学的活動を通すこと
- 考え、表現する能力を高めること
- 算数・数学を活用して考えたり判断したりしようとする

これらを踏まえた観点別の評価の在り方や、児童生徒の現状を、全国学力学習状況調査の問題分析を基に具体的に説明していただきました。

(2) 算数的・数学的活動の充実から

今回の新学習指導要領の最大の特徴である「算数的・数学的活動」をその「方法」「目標」「内容」の 3 つの観点から解説していただきました。また、それらの具体例として、ある小学校で行われた「四角形の内角の和を求める」授業実践の紹介がありました。

(3) 算数・数学の学びにおける言語・表現から
時間の関係で配付資料でのみの説明となってしまうましたが、算数・数学の授業内における言語活動の充実方法が紹介されました。最後に、学ぶ意欲、学ぶ力、学ぶ習慣といった「学び」の三要素を身に付けさせることが最も重要であるとまとめられていました。

2 分科会

高等学校は 10 の分科会に分かれて実施されました。数学活用を含めた各科目に関する研究、コンピュータを用いた研究、教育課程、学習指導法、自由研究などのテーマに大きく分類され、各教室では、4～5 の研究発表が行われました。なお、千葉県からは次の研究発表がなされました。

- 生徒の数学的活動を重視するための方策～
数学の良さを認識できる授業を目指して～
(銚子市立銚子高等学校 向後 隆夫)
- 体験的活動を取り入れた授業実践～学校設定科目「数学史」を通じた取組～
(八街高等学校 和田 匡史)
- 学習内容の定着を高めるための指導方法の工夫～『記憶』のメカニズムに基づいた数学の勉強法～
(柏中央高等学校 篠崎 健太郎)

次回の第 66 回関東都県算数・数学教育研究大会は、第 93 回全国算数・数学教育研究大会と同時開催で、来夏（8 月 1・2 日）に神奈川県（高等学校分科会場は日本大学高等学校）で実施されます。大会主題は、「算数・数学的活動を生かした魅力ある授業づくり」です。本大会では予約申し込み制が導入され、平成 23 年 6 月 15 日までに申し込むと、参加費が当日参加費より割引されます。詳しくは 10 月以降に大会ホームページに掲載されるそうです。